



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月27日

上場会社名 山洋電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)山本 茂生  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 財務経理担当 (氏名)塚田 明 TEL (03)3917-5151  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	14,658	155.0	727	—	667	—	791	—
22年3月期第1四半期	5,747	△57.4	△1,830	—	△1,539	—	△1,912	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	12 74	—
22年3月期第1四半期	△30 94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	69,101	32,775	46.6	517 83
22年3月期	66,614	32,444	47.9	512 86

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 32,182百万円 22年3月期 31,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4 00	—	4 00	8 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	5 00	—	6 00	11 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,100	105.9	2,000	—	1,700	—	1,500	—	24 13
通期	68,200	60.5	4,900	—	4,600	—	4,000	—	64 36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 ー社 ( ー ), 除外 ー社 ( ー )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続, 表示方法等の変更

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続, 表示方法等の変更の有無となります。

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	64,860,935株	22年3月期	64,860,935株
23年3月期1Q	2,711,281株	22年3月期	2,709,402株
23年3月期1Q	62,150,021株	22年3月期1Q	61,804,918株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注意事項)

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間における日本経済は、ヨーロッパ諸国の財政危機に端を発する株式市場の低迷や円高傾向の強まりにより企業収益への悪影響が懸念されるものの、一部の市場に需要回復が見られました。

当社グループの主要な市場では、設備産業などの業界において急激な需要回復がありました。

そのような市場環境において、当社グループは今期より第 6 次中期経営計画をスタートさせ、「業界 No. 1 のブランド」を構築するための諸施策に取り組みました。

その結果、当第 1 四半期累計期間における連結売上高は14,658百万円（前年同期比155.0%増）となり、連結営業利益は727百万円、連結経常利益は667百万円、連結四半期純利益は791百万円となりました。

事業部門別の営業概況は次のとおりです。

## クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、ファクトリーオートメーション業界の需要が急激に回復し、太陽光発電、燃料電池、LEDなどの市場からの需要も好調でした。また、従来からの大口需要先であったサーバ業界や通信装置業界における需要も、国内外ともに緩やかな回復傾向でした。

その結果、売上高は前年同期比54.2%増の4,076百万円となりました。

## パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、スクールニューディール向けをはじめとした、公共施設向け太陽光発電用パワーコンディショナの需要が第 2 四半期以降へ延伸となりました。

エンジン発電機は官公庁や通信業界向けに多くの需要がありました。

その結果、売上高は前年同期比29.1%増の1,366百万円となりました。

## サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、国内外の半導体業界向けをはじめとして、設備産業である工作機械、ロボット、射出成型機などの各業界も急激に回復し、当社製品の需要が大幅に増加しました。

その結果、売上高は前年同期比285.4%増の7,886百万円となりました。

## 電気機器販売事業

産業用電気機器・制御機器および電機材料の販売は、医療機器関係、鉄道車両関係を中心に堅調な回復傾向にあるものの、その他の分野の回復が遅く、全体として当初の計画を下回りました。

その結果、売上高は990百万円となりました。

## 電気工事事業

一般電機設備等の設計・施工に太陽光関係を加えた活動を開始しました。

主な事業分野の製鉄所関係のプラント設備、電機設備、発電電気設備工事の需要の回復は遅く、あわせて、補修工事もひかえる傾向がみられ、売上は計画を大幅に下回りました。

その結果、売上高は338百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産で2,487百万円、負債で2,157百万円、純資産では330百万円の増加となりました。

総資産の主な変動要因は、現金及び預金の増加1,011百万円、受取手形及び売掛金の減少353百万円、仕掛品の増加595百万円、繰延税金資産(流動)の増加440百万円等によるものです。

負債の主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加862百万円、短期借入金の増加723百万円、長期借入金の減少201百万円、繰延税金負債の減少164百万円等によるものです。

純資産の増加要因は、利益剰余金の増加543百万円等によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、7,057百万円となり、前連結会計年度末より1,128百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間の営業活動による資金の増加は、958百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益551百万円、減価償却費609百万円、仕入債務の増加842百万円が、たな卸資産の増加1,604百万円を上回ったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間の投資活動による資金の減少は、301百万円となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出425百万円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間の財務活動による資金の増加は、498百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増減額1,073百万円が、長期借入金の返済に伴う支出320百万円、配当金の支払249百万円を上回ったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想につきましては、平成22年4月27日発表の数値を修正していません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっています。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

#### ③ 法人税ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,234	6,222
受取手形及び売掛金	17,562	17,916
有価証券	230	—
商品及び製品	2,905	2,593
仕掛品	3,942	3,346
原材料及び貯蔵品	5,980	5,297
未成工事支出金	209	165
未収入金	711	565
繰延税金資産	949	508
その他	2,172	1,939
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	41,868	38,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,785	9,969
機械装置及び運搬具（純額）	3,547	3,614
土地	6,370	6,369
建設仮勘定	411	495
その他（純額）	750	657
有形固定資産合計	20,865	21,106
無形固定資産	380	294
投資その他の資産		
投資有価証券	3,855	4,581
繰延税金資産	2	—
その他	2,166	2,140
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	5,988	6,687
固定資産合計	27,233	28,088
資産合計	69,101	66,614

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,790	11,927
短期借入金	11,441	10,718
未払法人税等	158	140
役員賞与引当金	15	—
その他	4,480	3,512
流動負債合計	28,885	26,298
固定負債		
長期借入金	4,225	4,427
リース債務	1,047	1,067
退職給付引当金	558	533
繰延税金負債	194	359
再評価に係る繰延税金負債	1,119	1,119
負ののれん	274	343
その他	20	20
固定負債合計	7,440	7,870
負債合計	36,326	34,169
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	11,745	11,202
自己株式	△889	△888
株主資本合計	32,243	31,701
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57	299
土地再評価差額金	657	657
為替換算調整勘定	△776	△783
評価・換算差額等合計	△61	173
少数株主持分	592	569
純資産合計	32,775	32,444
負債純資産合計	69,101	66,614



## (2) 四半期連結損益計算書

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
売上高	5,747	14,658
売上原価	5,725	11,694
売上総利益	22	2,964
販売費及び一般管理費	1,853	2,236
営業利益又は営業損失 (△)	△1,830	727
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	45	49
為替差益	84	—
助成金収入	161	15
負ののれん償却額	—	68
その他	40	27
営業外収益合計	339	166
営業外費用		
支払利息	40	44
為替差損	—	167
その他	7	14
営業外費用合計	48	227
経常利益又は経常損失 (△)	△1,539	667
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	0	—
その他	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	20
投資有価証券評価損	—	4
クレーム対策関連費用	—	72
その他	—	19
特別損失合計	0	116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,539	551
法人税、住民税及び事業税	38	149
法人税等還付税額	△24	—
過年度法人税等	△19	—
法人税等調整額	393	△407
法人税等合計	388	△257
少数株主損益調整前四半期純利益	—	808
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△15	16
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,912	791

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,539	551
減価償却費	628	609
売上債権の増減額 (△は増加)	3,797	196
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81	△1,604
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,451	842
その他	△722	431
小計	△204	1,026
法人税等の支払額	67	△78
その他の収入	3	9
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△134</b>	<b>958</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△633	△425
その他	△4	123
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△638</b>	<b>△301</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	900	1,073
長期借入金の返済による支出	△205	△320
配当金の支払額	△247	△249
その他	△5	△5
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>441</b>	<b>498</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	92	△25
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△239</b>	<b>1,128</b>
現金及び現金同等物の期首残高	5,227	5,928
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>4,988</b>	<b>7,057</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 1 四半期連結累計期間（自平成22年 4 月 1 日 至平成22年 6 月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。